



片泊

平家城・初期畜産業の遺構
フェリーみしまが片泊港に入港する前、島の低い位置に平地①が確認できる。断崖を背にしたその平地は平家城と呼ばれ、黒島に逃れた平家の落人が最初に暮らした場所という伝承がある。陸から行くには崖を下る必要があり、現在訪れる者はほぼない。

黒島の平家城は、二〇二二年より鹿児島国際大学の中園聡研究室が本格的な発掘調査を行った。結果、十一世紀後半〜十三世紀前半の陶磁器や石鍋などを発見している。ただしそれ以降の生活の痕跡は見つかからないため、平家城での居住は中世後期には廃れたと推測される。

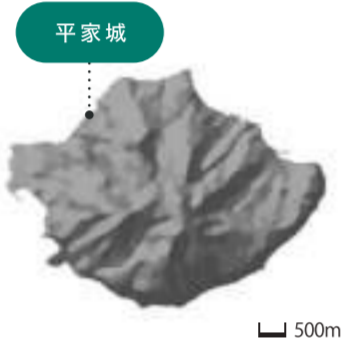
その後、昭和初期に平家城は畑や放牧場になった。その頃、牛が海に落ちないように石壁を築いたそうで、その石壁は今も形をとどめている②。

三島村の畜産業は、大正末期から昭和初期の間に大里で興った。片泊では一九三〇(昭和五)年頃に黒牛が飼われはじめ、この頃から黒牛の飼育が盛んになった③。平家城はかつての放牧の様子を今に残す貴重な場でもある。

思い出話

「私が子どものころ平家城は遠足の場所でした。子どもたちはこの場に自生するアケチの実で竹鉄砲をつくったり、熟した実を食べたものです。」

片泊地区 六〇代男性



11

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|--------------------|--------------------|---------------------|------------------------------|---------------------------|--------------------|--------------------|
| 30 | 31 | 1 ●上弦 旧 10/8 | 2 ○ 旧 10/9 | 3 ● 文化の日 旧 10/10 | 4 ○ 旧 10/11 | 5 ○ 旧 10/12 |
| 6 ○ 旧 10/13 | 7 ○ 旧 10/14 | 8 ○満月 旧 10/15 | 9 ○ 旧 10/16 | 10 ○ 旧 10/17 | 11 ○ 旧 10/18 | 12 ○ 旧 10/19 |
| 13 ○ 旧 10/20 | 14 ○ 旧 10/21 | 15 ● 旧 10/22 | 16 ●下弦 旧 10/23 | 17 ● 旧 10/24 | 18 ● 旧 10/25 | 19 ● 旧 10/26 |
| 20 ● 旧 10/27 | 21 ● 旧 10/28 | 22 ● 旧 10/29 | 23 ● 勤労感謝の日 旧 10/30 | 24 ●新月 旧 11/1 | 25 ● 旧 11/2 | 26 ● 旧 11/3 |
| 27 ● 旧 11/4 | 28 ● 旧 11/5 | 29 ● 旧 11/6 | 30 ●上弦 旧 11/7 | 1 | 2 | 3 |